

いざという時の備えとして

家族で作業を分担しながら、ハウス8棟で主にトマトやキュウリを栽培しています。

周りでハウス栽培をしている人のほとんどが園芸施設共済に加入されて、私ももしもの災害に備えようと思い、約30年前から加入しています。

昨年12月の強風で、ハウス1棟の屋根面のビニールが全て破れました。新しくビニールを張った直後だったので、共済金を受け取ることができて助かりました。

ハウスが海に近いので、ビニールが破れたところから海水が入り、作物が枯れたことがありました。台風などの被害はあまり受けない地域ですが、接近したときはビニールが浮き上がらないようにハウスバンドで固定するなど、できる限りの対策をしています。

リスクを少しでも減らすために、園芸施設共済への加入は欠かせません。また、2019年から収入保険にも加入しています。併せて入っておくと、作物などの収入減にも備えられるので安心です。

▷ハウス8棟＝単棟6、連棟2（トマト・キュウリ約27畝）



（農業共済新聞 中国版 2023年6月2週号より） 呉市倉橋町 立花 達也さん（65歳）